

# 岡山県の景気観測調査

(令和2年10～12月期実績)

令和3年1月29日

岡山県商工会議所連合会

- 1. 調査方法** FAXによるアンケート
- 2. 調査内容** 景況のほか、生産額・売上額など10項目  
①令和2年10～12月期を前年同期と比較  
②令和3年1～3月期の先行き見通しを令和2年10～12月期と比較
- 3. 調査時期** 12月下旬
- 4. 調査対象** 県下商工会議所会員企業564社
- 5. 有効回答数** 534社 (回収率94.7%)  
製造業 182社 食料品28社 繊維関連32社 紙・印刷・出版21社  
機械金属34社 電気・精密機械10社 鉱業・窯業・土石9社  
輸送用機械器具12社 その他36社  
建設業 92社  
卸売業 69社  
小売業 84社  
サービス業 107社
- 6. 調査開始時期** 平成10年(1998年)12月
- 7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式**  
DIは各調査項目について判断の状況を示す。  
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。  
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

**8. 問い合わせ先** 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	事業推進部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	経営支援課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	経営支援課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	総務課	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	経営支援部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	経営支援課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	地域支援課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

# 令和2年10～12月期「景況概要」

「景況DIは2期連続で改善するも、感染再拡大から先行きへの警戒感強まる」

景況全体では、DI値が▲41.6となり、前期(▲49.0)と比べ、7.4ポイントマイナス幅が縮小し、2期連続での改善となった。業種別にDI値を見ると、製造業、卸売業、小売業、サービス業で改善したが、建設業では悪化した。項目別では、依然として低い水準にあるものの、原材料・商品仕入価格を除く8項目でDI値が改善した。GOTOキャンペーンにより一時的に景況の持ち直しが見られたものの、首都圏を中心とした新型コロナウイルスの感染再拡大から、先行きへの警戒感が強まっている。

## 1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲41.6と7～9月期に比べ7.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

## 2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は▲51.3と7～9月期に比べ10.2ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

## 3. 受注額

総合DI（増加－減少）は▲46.2と7～9月期に比べ7.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

## 4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲5.2と7～9月期に比べ0.8ポイントマイナス幅が拡大した。業種別では、卸売業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、サービス業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

## 5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は▲7.4と7～9月期に比べ0.9ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、小売業ではマイナス幅が拡大した。

## 6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は8.9と7～9月期に比べ2.4ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、製造業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、小売業ではプラス幅が縮小した。

## 7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲24.6と7～9月期に比べ4.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

## 8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲41.7と7～9月期に比べ9.3ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

## 9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は11.8と7～9月期に比べ4.4ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、サービス業でマイナスからプラスへ転換、製造業でマイナス幅が縮小、建設業でプラスで横ばいとなった。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

## 10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は7.7と7～9月期に比べ5.5ポイントプラス幅が拡大した。業種別では、建設業、小売業でプラス幅が拡大、サービス業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業ではプラスからマイナスへ転換した。

# 1. 景況

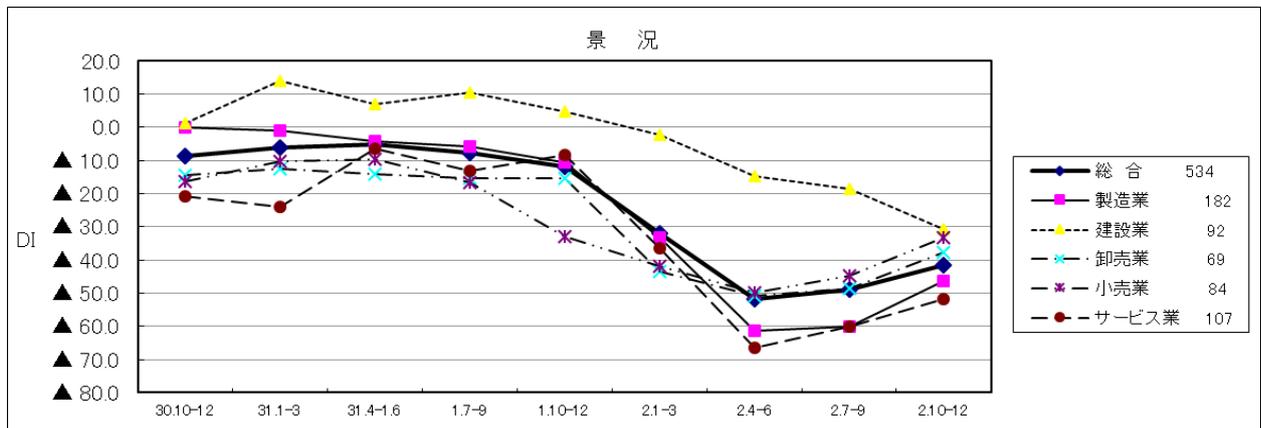
## (1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲41.6と7～9月期に比べ7.4ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

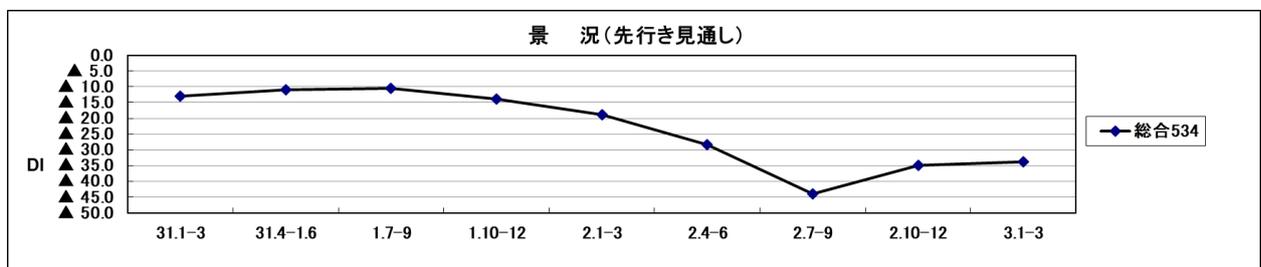
令和3年1～3月の見通し総合DIは▲33.8（前回調査時の先行き見通し総合DI▲34.9）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

景況		30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	534	▲8.7	▲6.3	▲5.1	▲7.9	▲12.0	▲32.0	▲51.7	▲49.0	▲41.6
製造業	182	0.0	▲1.1	▲4.3	▲5.9	▲10.5	▲33.3	▲61.4	▲60.1	▲46.4
建設業	92	1.2	14.1	6.9	10.6	4.6	▲2.5	▲14.8	▲18.5	▲30.8
卸売業	69	▲14.3	▲12.5	▲14.1	▲15.3	▲15.3	▲43.5	▲50.7	▲48.5	▲37.7
小売業	84	▲16.3	▲10.2	▲9.6	▲16.7	▲33.0	▲41.8	▲50.0	▲44.7	▲33.3
サービス業	107	▲20.7	▲23.9	▲6.4	▲13.3	▲8.3	▲36.4	▲66.4	▲60.0	▲51.9



## <参考> 先行き見通し

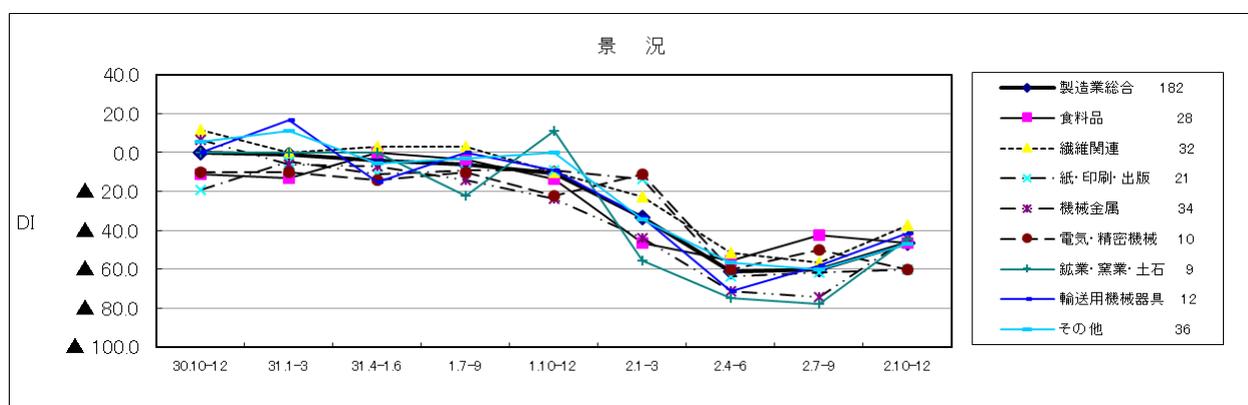
先行き見通し		31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	534	▲12.9	▲11.0	▲10.6	▲13.8	▲18.9	▲28.3	▲44.0	▲34.9	▲33.8



## (2) 製造業の内訳

繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

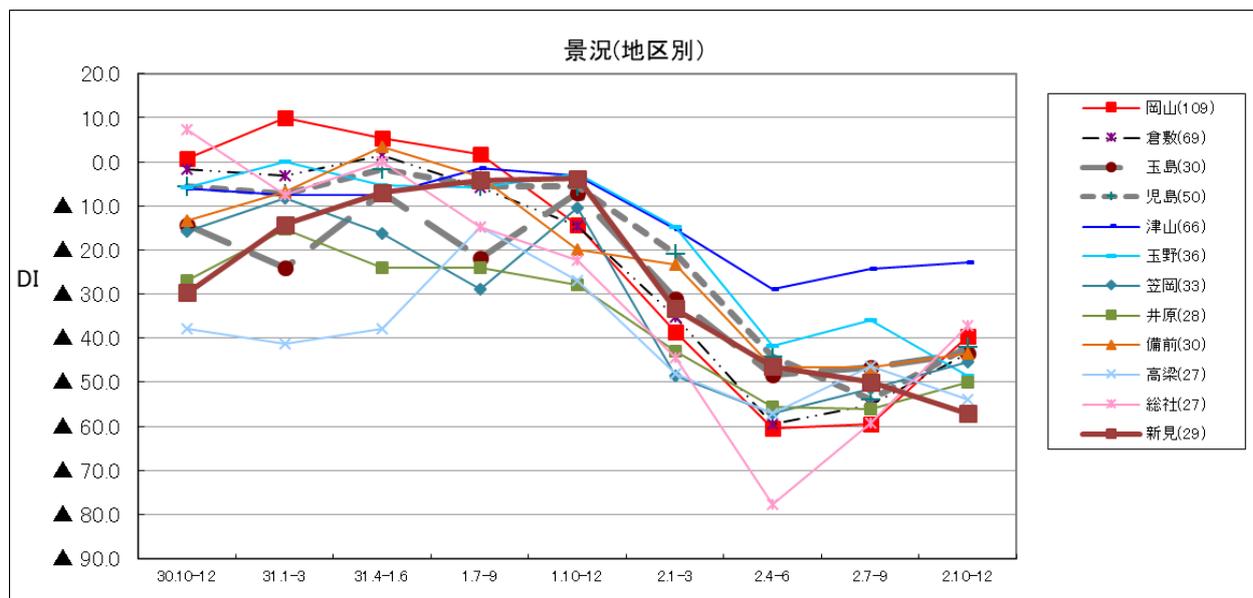
景況	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
製造業総合 182	0.0	▲ 1.1	▲ 4.3	▲ 5.9	▲ 10.5	▲ 33.3	▲ 61.4	▲ 60.1	▲ 46.4
食料品 28	▲ 11.1	▲ 13.3	0.0	▲ 3.4	▲ 13.8	▲ 46.4	▲ 55.6	▲ 42.3	▲ 46.4
繊維関連 32	11.8	0.0	2.9	3.0	▲ 10.0	▲ 22.6	▲ 51.6	▲ 56.7	▲ 37.5
紙・印刷・出版 21	▲ 19.0	▲ 4.5	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 9.1	▲ 13.6	▲ 63.6	▲ 61.9	▲ 60.0
機械金属 34	6.5	▲ 5.9	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 44.1	▲ 71.4	▲ 74.3	▲ 44.1
電気・精密機械 10	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 60.0
鉱業・窯業・土石 9	0.0	0.0	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 55.6	▲ 75.0	▲ 77.8	▲ 44.4
輸送用機械器具 12	0.0	16.7	▲ 15.4	0.0	▲ 9.1	▲ 33.3	▲ 71.4	▲ 58.3	▲ 41.7
その他 36	5.4	11.1	▲ 5.6	▲ 2.9	0.0	▲ 34.2	▲ 56.8	▲ 60.0	▲ 47.2



## <参考>地区別

岡山、倉敷、玉島、児島、津山、笠岡、井原、備前、総社ではマイナス幅が縮小した。しかし、玉野、高梁、新見ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
岡山(109)	0.9	9.9	5.4	1.7	▲ 14.3	▲ 38.5	▲ 60.4	▲ 59.4	▲ 39.4
倉敷(69)	▲ 1.6	▲ 3.1	1.4	▲ 5.8	▲ 14.5	▲ 35.3	▲ 59.4	▲ 55.1	▲ 43.5
玉島(30)	▲ 14.3	▲ 24.1	▲ 6.9	▲ 21.9	▲ 6.9	▲ 31.0	▲ 48.4	▲ 46.7	▲ 43.3
児島(50)	▲ 5.7	▲ 7.3	▲ 1.8	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 20.8	▲ 44.2	▲ 54.0	▲ 42.0
津山(66)	▲ 6.0	▲ 7.5	▲ 7.6	▲ 1.5	▲ 3.0	▲ 15.2	▲ 28.8	▲ 24.2	▲ 22.7
玉野(36)	▲ 5.7	0.0	▲ 5.4	▲ 5.7	▲ 2.6	▲ 14.7	▲ 41.7	▲ 35.9	▲ 48.6
笠岡(33)	▲ 15.8	▲ 8.1	▲ 16.2	▲ 28.9	▲ 10.5	▲ 48.6	▲ 57.1	▲ 51.4	▲ 45.5
井原(28)	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 24.1	▲ 28.0	▲ 42.9	▲ 55.6	▲ 56.0	▲ 50.0
備前(30)	▲ 13.3	▲ 6.7	3.3	▲ 3.3	▲ 20.0	▲ 23.3	▲ 46.7	▲ 46.7	▲ 43.3
高梁(27)	▲ 37.9	▲ 41.4	▲ 37.9	▲ 14.8	▲ 26.9	▲ 48.0	▲ 57.1	▲ 46.4	▲ 53.8
総社(27)	7.4	▲ 7.4	0.0	▲ 14.8	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 77.8	▲ 59.3	▲ 37.0
新見(29)	▲ 29.6	▲ 14.3	▲ 6.9	▲ 4.2	▲ 3.8	▲ 33.3	▲ 46.4	▲ 50.0	▲ 57.1



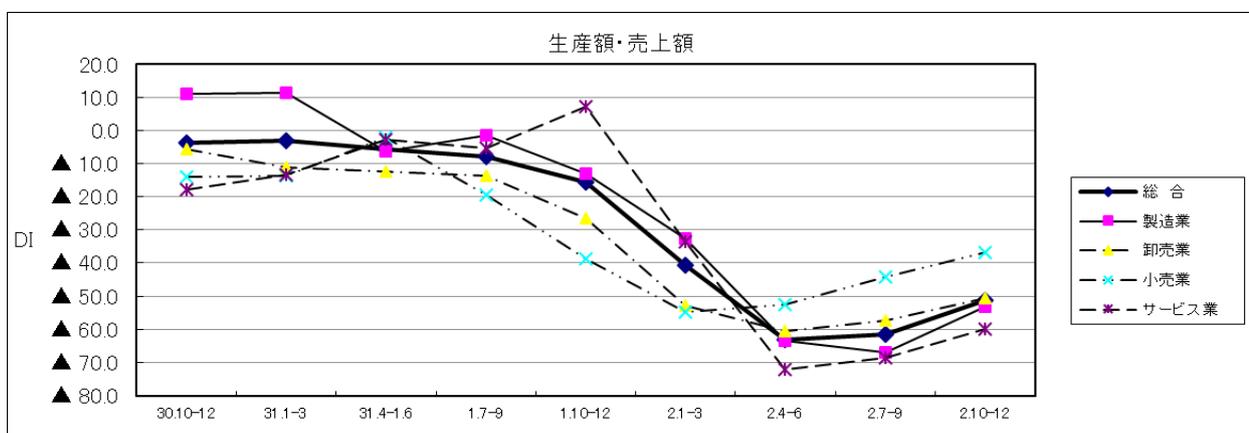
## 2. 生産額・売上額

### (1) 全体

総合DI (増加-減少) は▲51.3と7～9月期に比べ10.2ポイントマイナス幅が縮小した。  
業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

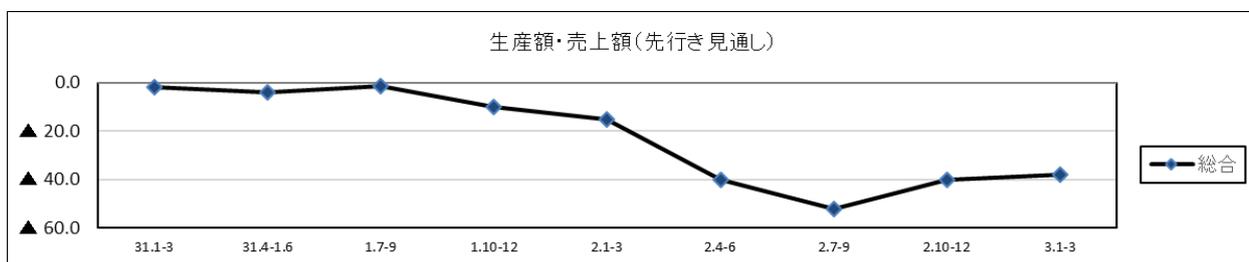
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲37.8 (前回▲40.3) となり、マイナス幅が縮小する見通し。

生産額・売上額	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲3.7	▲3.1	▲5.6	▲7.9	▲15.5	▲40.6	▲63.2	▲61.5	▲51.3
製造業	10.9	11.2	▲6.3	▲1.6	▲13.1	▲32.8	▲63.4	▲67.0	▲53.0
卸売業	▲5.6	▲11.0	▲12.5	▲13.7	▲26.4	▲52.9	▲60.6	▲57.4	▲50.7
小売業	▲14.1	▲13.6	▲2.1	▲19.4	▲38.7	▲54.8	▲52.4	▲44.0	▲36.9
サービス業	▲17.9	▲13.5	▲2.7	▲5.3	7.2	▲33.6	▲72.2	▲68.5	▲60.0



### <参考> 先行き見通し

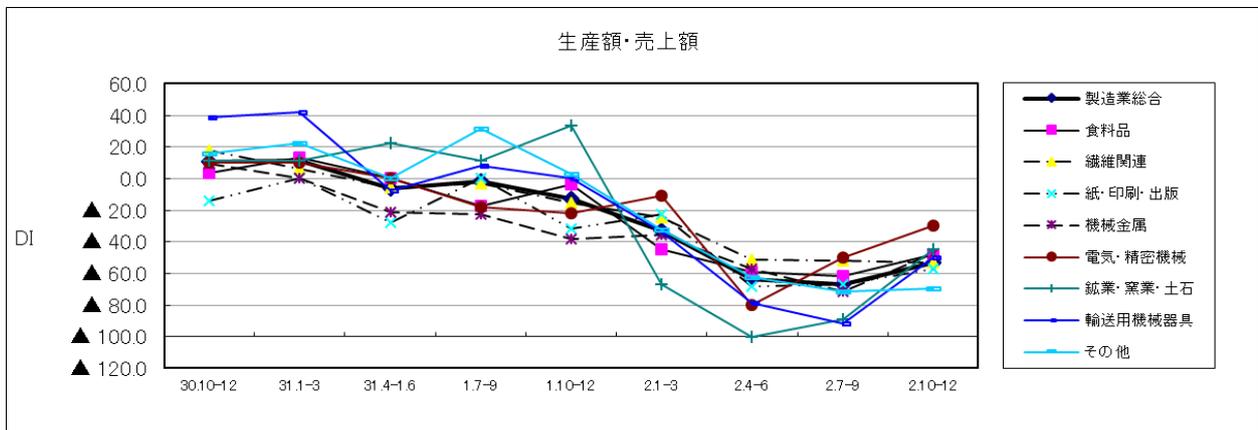
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲2.0	▲4.0	▲1.3	▲9.9	▲15.2	▲40.3	▲52.2	▲40.3	▲37.8



## (2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
製造業総合	10.9	11.2	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 13.1	▲ 32.8	▲ 63.4	▲ 67.0	▲ 53.0
食料品	3.7	13.3	0.0	▲ 17.2	▲ 3.4	▲ 44.4	▲ 59.3	▲ 61.5	▲ 48.1
繊維関連	17.6	5.9	▲ 5.6	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 24.2	▲ 51.5	▲ 51.6	▲ 53.1
紙・印刷・出版	▲ 14.3	0.0	▲ 27.8	0.0	▲ 31.8	▲ 22.7	▲ 68.2	▲ 66.7	▲ 57.1
機械金属	9.7	0.0	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 35.3	▲ 57.1	▲ 71.4	▲ 47.1
電気・精密機械	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 30.0
鉱業・窯業・土石	11.1	11.1	22.2	11.1	33.3	▲ 66.7	▲ 100.0	▲ 88.9	▲ 44.4
輸送用機械器具	38.5	41.7	▲ 7.7	8.3	0.0	▲ 33.3	▲ 78.6	▲ 91.7	▲ 50.0
その他	15.8	22.2	0.0	31.4	2.7	▲ 32.4	▲ 62.2	▲ 71.4	▲ 69.4



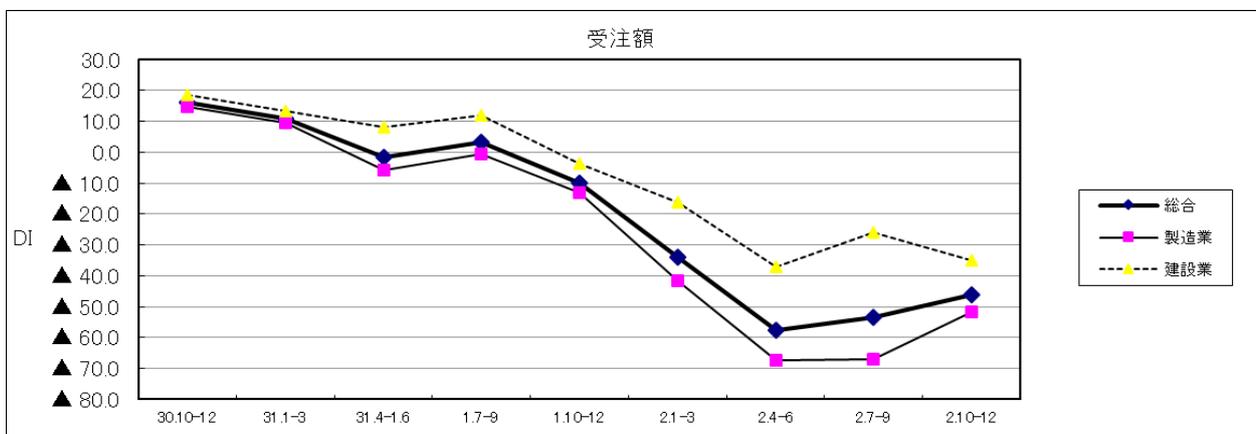
### 3. 受注額

#### (1) 全体

総合DI（増加－減少）は▲46.2と7～9月期に比べ7.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

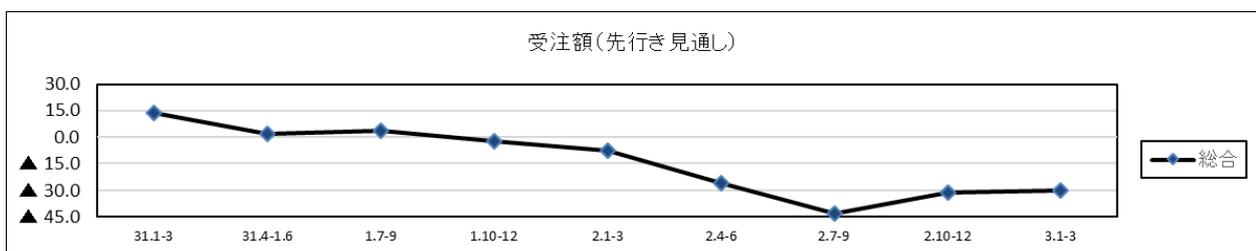
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲29.9（前回▲31.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

受注額	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	16.0	10.7	▲1.4	3.3	▲10.1	▲33.8	▲57.7	▲53.6	▲46.2
製造業	14.8	9.6	▲5.8	▲0.5	▲13.1	▲41.5	▲67.2	▲67.0	▲51.6
建設業	18.6	13.3	8.0	12.0	▲3.6	▲16.3	▲37.2	▲26.1	▲35.2



#### <参考> 先行き見通し

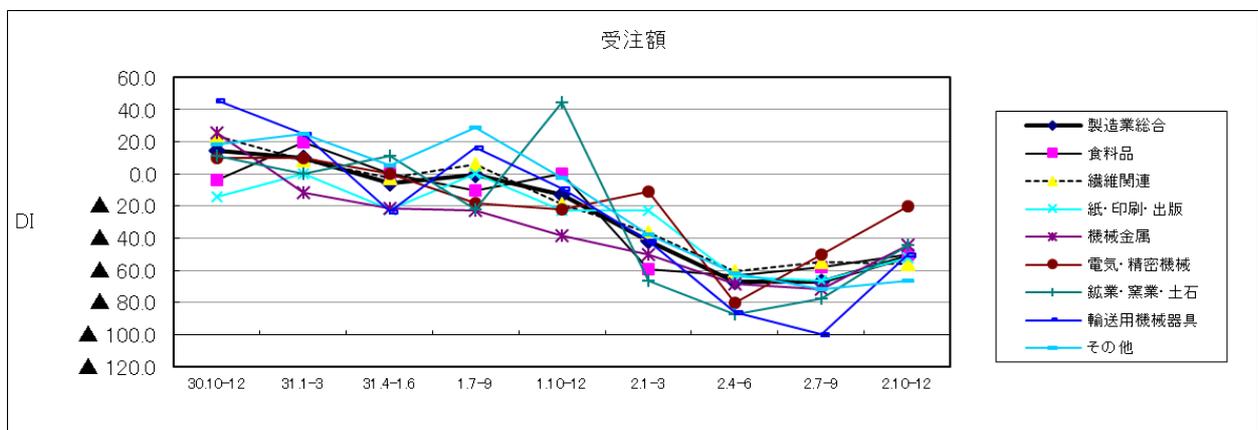
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	13.4	1.9	3.7	▲2.6	▲7.4	▲26.1	▲43.2	▲31.2	▲29.9



## (2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

受注額	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
製造業総合	14.8	9.6	▲ 5.8	▲ 0.5	▲ 13.1	▲ 41.5	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 51.6
食料品	▲ 3.7	20.0	0.0	▲ 10.3	0.0	▲ 59.3	▲ 63.0	▲ 57.7	▲ 50.0
繊維関連	23.5	8.8	▲ 2.8	5.7	▲ 18.8	▲ 36.4	▲ 60.6	▲ 54.8	▲ 56.3
紙・印刷・出版	▲ 14.3	0.0	▲ 22.2	0.0	▲ 22.7	▲ 22.7	▲ 63.6	▲ 66.7	▲ 52.4
機械金属	25.8	▲ 11.8	▲ 21.4	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 50.0	▲ 68.6	▲ 71.4	▲ 44.1
電気・精密機械	10.0	10.0	0.0	▲ 18.2	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 20.0
鉱業・窯業・土石	11.1	0.0	11.1	▲ 22.2	44.4	▲ 66.7	▲ 87.5	▲ 77.8	▲ 44.4
輸送用機械器具	46.2	25.0	▲ 23.1	16.7	▲ 9.1	▲ 41.7	▲ 85.7	▲ 100.0	▲ 50.0
その他	18.4	25.0	5.6	28.6	▲ 2.7	▲ 37.8	▲ 62.2	▲ 71.4	▲ 66.7



## 4. 原材料・商品仕入価格

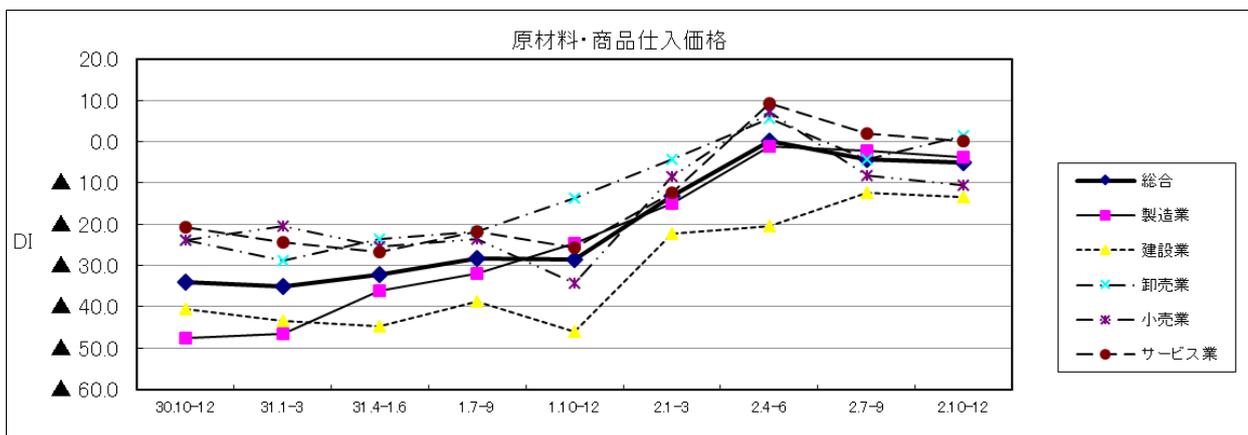
### (1) 全体

総合D I（下降－上昇）は▲5. 2と7～9月期に比べ0. 8ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、卸売業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、サービス業ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、製造業、建設業、小売業ではマイナス幅が拡大した。

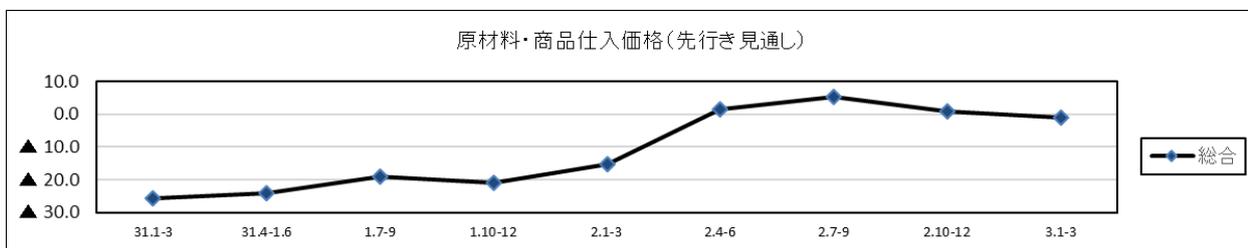
令和3年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲1. 0（前回1. 0）となり、プラスからマイナスへ転換する見通し。

原材料・商品仕入価格	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲ 34.0	▲ 35.0	▲ 32.2	▲ 28.3	▲ 28.5	▲ 13.1	0.0	▲ 4.4	▲ 5.2
製造業	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ 3.9
建設業	▲ 40.7	▲ 43.5	▲ 44.8	▲ 38.8	▲ 46.0	▲ 22.2	▲ 20.5	▲ 12.4	▲ 13.5
卸売業	▲ 23.9	▲ 28.8	▲ 23.6	▲ 21.9	▲ 13.7	▲ 4.3	5.6	▲ 4.4	1.4
小売業	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 25.5	▲ 23.7	▲ 34.4	▲ 8.6	7.1	▲ 8.2	▲ 10.7
サービス業	▲ 20.8	▲ 24.5	▲ 26.7	▲ 21.7	▲ 25.7	▲ 12.4	9.2	1.9	0.0



### <参考> 先行き見通し

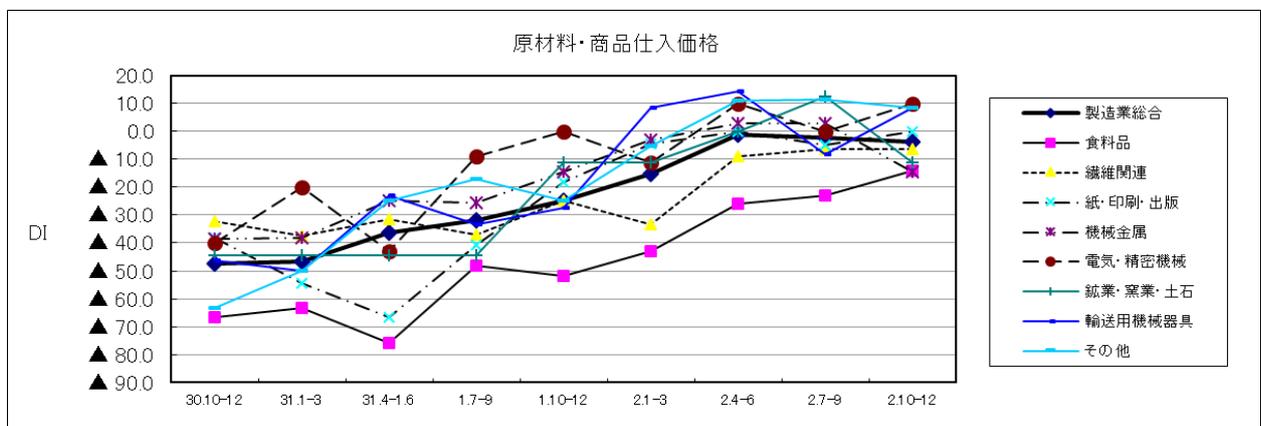
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲ 25.7	▲ 24.2	▲ 19.0	▲ 21.0	▲ 15.4	1.5	5.2	1.0	▲ 1.0



## (2) 製造業の内訳

電機・精密機械ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、その他ではプラス幅が縮小、機械金属、鉱業・窯業・土石ではプラスからマイナスへ転換した。

原材料・商品仕入価格	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
<b>製造業総合</b>	▲ 47.5	▲ 46.5	▲ 36.2	▲ 31.9	▲ 24.7	▲ 15.1	▲ 1.1	▲ 2.2	▲ <b>3.9</b>
食料品	▲ 66.7	▲ 63.3	▲ 76.0	▲ 48.3	▲ 51.7	▲ 42.9	▲ 25.9	▲ 23.1	▲ <b>14.3</b>
繊維関連	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 9.1	▲ 6.5	▲ <b>6.3</b>
紙・印刷・出版	▲ 38.1	▲ 54.5	▲ 66.7	▲ 40.9	▲ 18.2	▲ 4.5	0.0	▲ 4.8	0.0
機械金属	▲ 38.7	▲ 38.2	▲ 25.0	▲ 25.7	▲ 14.7	▲ 2.9	2.9	2.9	▲ <b>14.7</b>
電気・精密機械	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 42.9	▲ 9.1	0.0	▲ 11.1	10.0	0.0	10.0
鉱業・窯業・土石	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 44.4	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	12.5	▲ <b>11.1</b>
輸送用機械器具	▲ 46.2	▲ 50.0	▲ 23.1	▲ 33.3	▲ 27.3	8.3	14.3	▲ 8.3	8.3
その他	▲ 63.2	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 17.1	▲ 25.0	▲ 5.3	10.8	11.4	8.3



## 5. 製品・商品販売価格

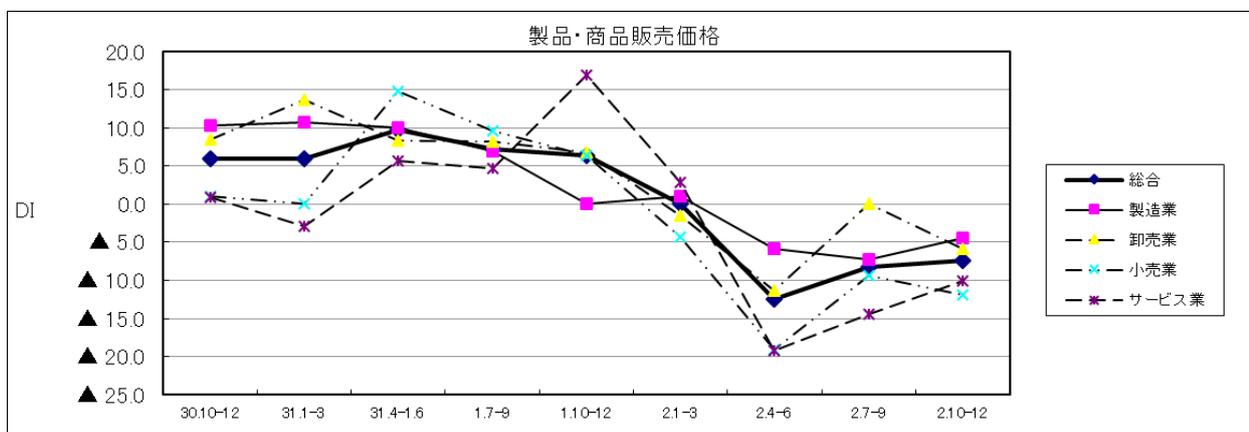
### (1) 全体

総合D I（上昇－下降）は▲7.4と7～9月期に比べ0.9ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、小売業ではマイナス幅が拡大した。

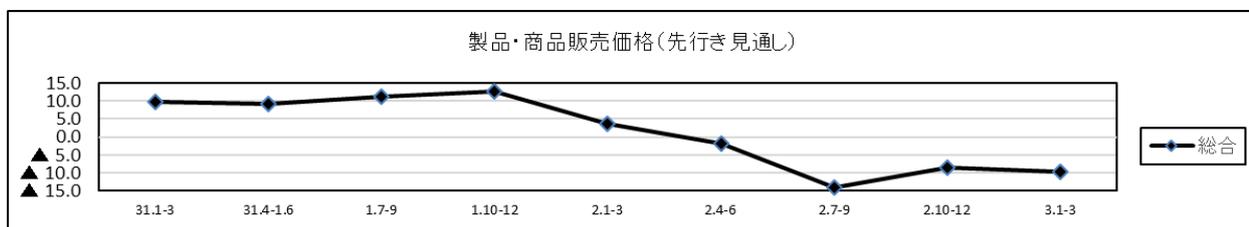
令和3年1～3月期の先行き見通し総合D Iは▲9.7（前回▲8.6）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

製品・商品販売価格	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	6.0	5.9	9.8	7.2	6.4	0.0	▲12.4	▲8.3	▲7.4
製造業	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲5.9	▲7.3	▲4.4
卸売業	8.5	13.7	8.3	8.2	6.8	▲1.4	▲11.3	0.0	▲5.8
小売業	1.1	0.0	14.9	9.7	6.5	▲4.3	▲19.0	▲9.4	▲11.9
サービス業	0.9	▲2.8	5.7	4.8	17.0	2.9	▲19.3	▲14.4	▲10.0



### <参考> 先行き見通し

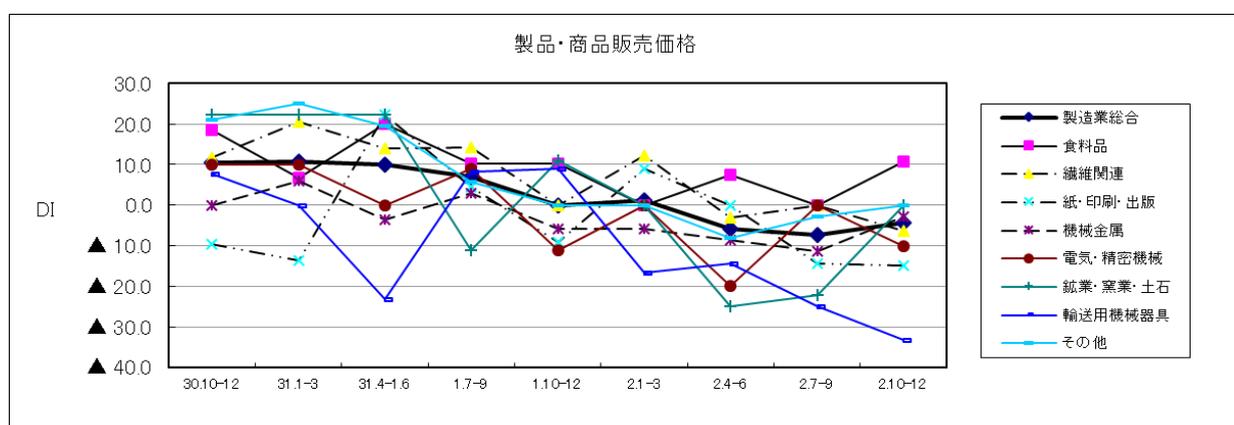
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	9.7	9.2	11.2	12.7	3.6	▲1.8	▲14.2	▲8.6	▲9.7



## (2) 製造業の内訳

食料品ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、機械金属ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナス幅が拡大した。

製品・商品販売価格	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
製造業総合	10.4	10.7	10.1	6.9	0.0	1.1	▲ 5.9	▲ 7.3	▲ 4.4
食料品	18.5	6.7	20.0	10.3	10.3	0.0	7.4	0.0	10.7
繊維関連	11.8	20.6	13.9	14.3	0.0	12.1	▲ 3.0	0.0	▲ 6.3
紙・印刷・出版	▲ 9.5	▲ 13.6	22.2	4.5	▲ 9.1	9.1	0.0	▲ 14.3	▲ 15.0
機械金属	0.0	5.9	▲ 3.6	2.9	▲ 5.9	▲ 5.9	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 2.9
電気・精密機械	10.0	10.0	0.0	9.1	▲ 11.1	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 10.0
鉱業・窯業・土石	22.2	22.2	22.2	▲ 11.1	11.1	0.0	▲ 25.0	▲ 22.2	0.0
輸送用機械器具	7.7	0.0	▲ 23.1	8.3	9.1	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 25.0	▲ 33.3
その他	21.1	25.0	19.4	5.7	0.0	0.0	▲ 8.1	▲ 2.9	0.0



## 6. 製品在庫・商品在庫

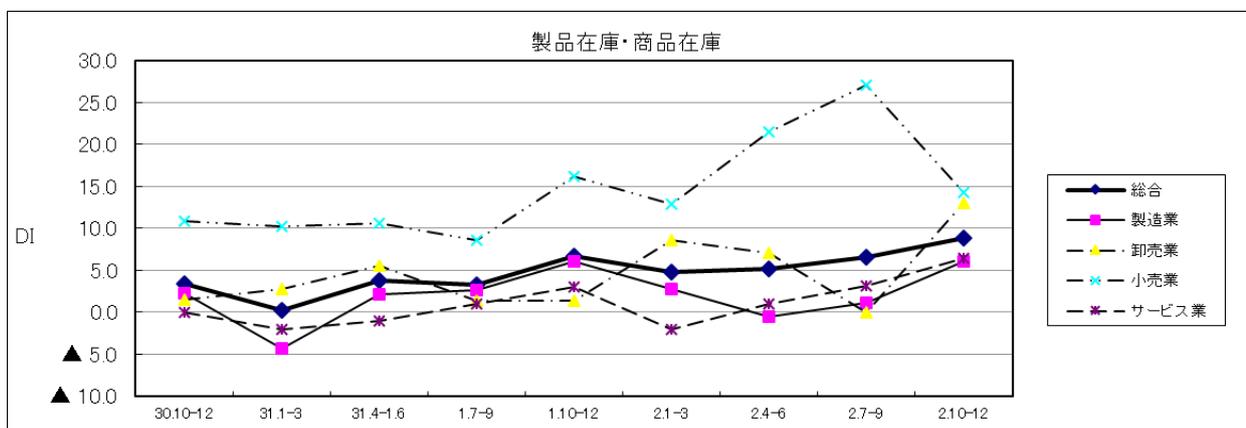
### (1) 全体

総合D I（減少－増加）は8.9と7～9月期に比べ2.4ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換した。しかし、小売業ではプラス幅が縮小した。

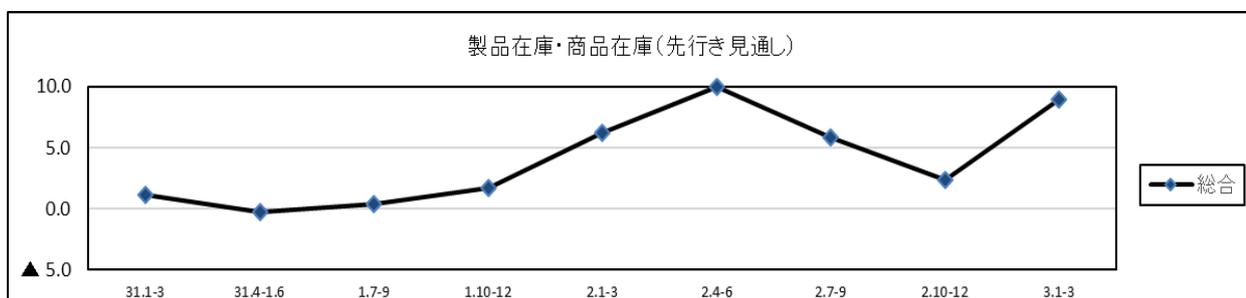
令和3年1～3月期の先行き見通し総合D Iは8.9（前回2.4）となり、プラス幅が拡大する見通し。

製品在庫・商品在庫	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	3.4	0.2	3.7	3.3	6.7	4.7	5.2	6.5	<b>8.9</b>
製造業	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1	<b>6.0</b>
卸売業	1.4	2.7	5.6	1.4	1.4	8.6	7.0	0.0	<b>13.0</b>
小売業	10.9	10.2	10.6	8.6	16.1	12.9	21.4	27.1	<b>14.3</b>
サービス業	0.0	▲ 2.0	▲ 1.0	1.0	3.0	▲ 2.0	1.0	3.1	<b>6.5</b>



### <参考> 先行き見通し

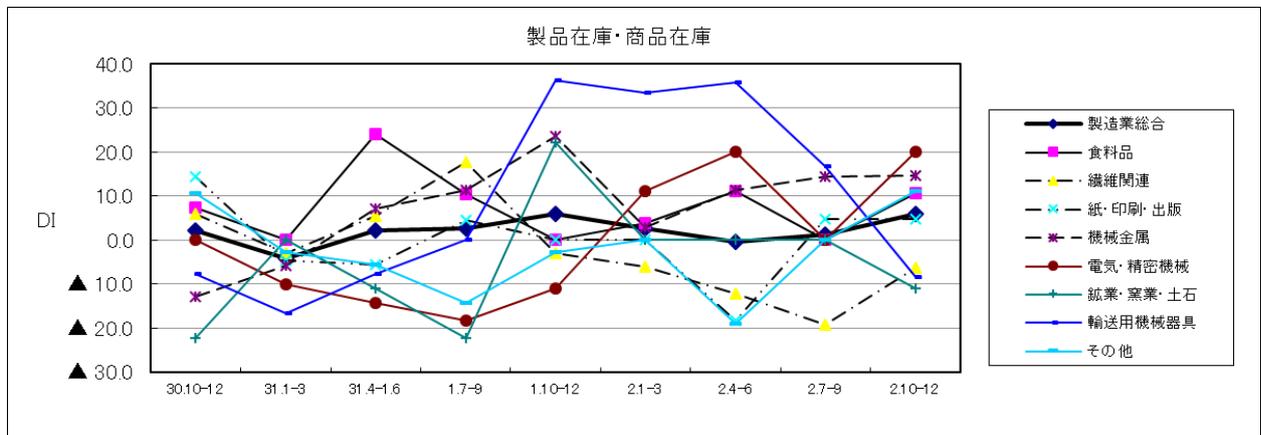
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	1.1	▲ 0.2	0.4	1.8	6.3	10.0	5.9	2.4	<b>8.9</b>



## (2) 製造業の内訳

機械金属ではプラス幅が拡大、食料品、電気・精密機械、その他ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、繊維関連ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版ではプラスで横ばいとなった。しかし、輸送用機械器具ではプラスからマイナスへ転換、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換した。

製品在庫・商品在庫	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
<b>製造業総合</b>	2.2	▲ 4.3	2.1	2.7	6.0	2.7	▲ 0.5	1.1	<b>6.0</b>
食料品	7.4	0.0	24.0	10.3	0.0	3.7	11.1	0.0	<b>10.7</b>
繊維関連	5.9	▲ 2.9	5.6	17.6	▲ 3.1	▲ 6.1	▲ 12.1	▲ 19.4	▲ <b>6.3</b>
紙・印刷・出版	14.3	▲ 4.5	▲ 5.6	4.5	0.0	0.0	▲ 18.2	4.8	<b>4.8</b>
機械金属	▲ 12.9	▲ 5.9	7.1	11.4	23.5	2.9	11.4	14.3	<b>14.7</b>
電気・精密機械	0.0	▲ 10.0	▲ 14.3	▲ 18.2	▲ 11.1	11.1	20.0	0.0	<b>20.0</b>
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	0.0	▲ 11.1	▲ 22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	▲ <b>11.1</b>
輸送用機械器具	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.7	0.0	36.4	33.3	35.7	16.7	▲ <b>8.3</b>
その他	10.5	▲ 2.8	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 2.7	0.0	▲ 18.9	0.0	<b>11.1</b>



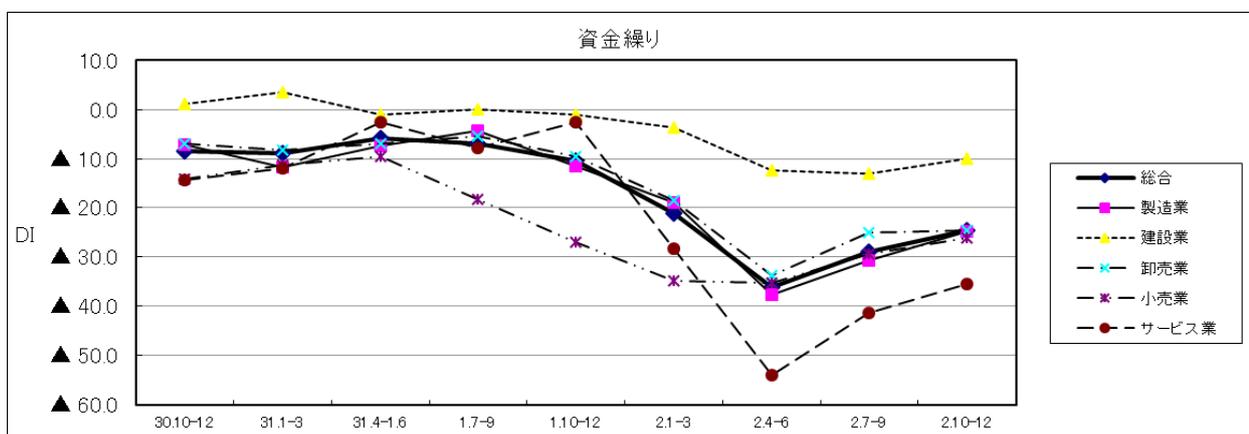
## 7. 資金繰り

### (1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲24.6と7～9月期に比べ4.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。

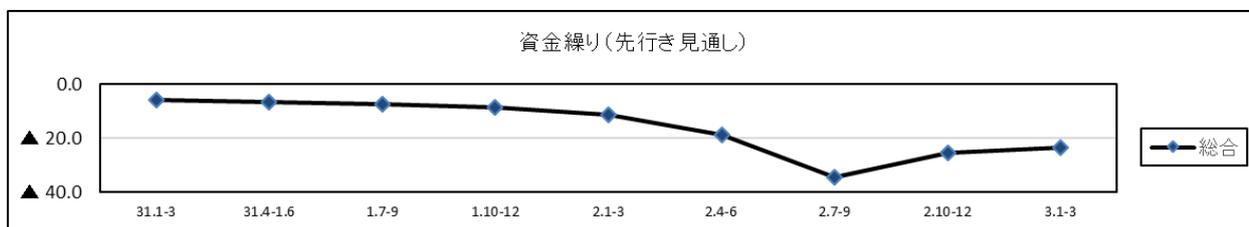
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲23.7（前回▲25.7）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

資金繰り	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲8.4	▲8.8	▲5.8	▲6.9	▲10.4	▲21.2	▲36.1	▲29.0	▲24.6
製造業	▲7.1	▲11.8	▲7.4	▲4.3	▲11.5	▲19.0	▲37.6	▲30.7	▲24.7
建設業	1.1	3.5	▲1.1	0.0	▲1.1	▲3.6	▲12.4	▲13.0	▲9.9
卸売業	▲7.0	▲8.2	▲6.9	▲5.5	▲9.6	▲18.6	▲33.8	▲25.0	▲24.6
小売業	▲14.1	▲11.4	▲9.6	▲18.3	▲26.9	▲34.8	▲35.2	▲29.4	▲26.2
サービス業	▲14.3	▲11.9	▲2.7	▲7.9	▲2.7	▲28.2	▲53.9	▲41.4	▲35.5



### <参考> 先行き見通し

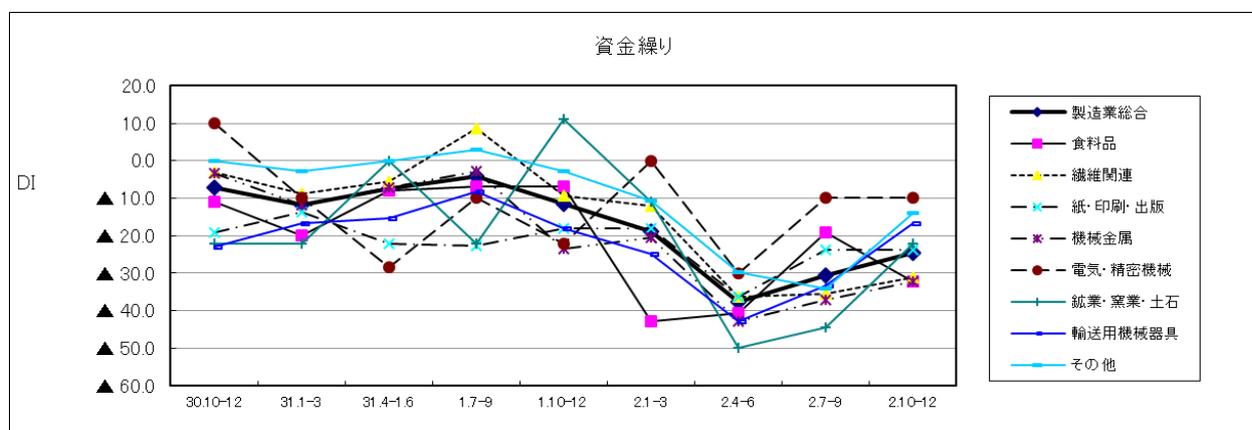
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲5.8	▲6.8	▲7.2	▲8.5	▲11.4	▲18.8	▲34.6	▲25.7	▲23.7



## (2) 製造業の内訳

繊維関連、機械金属、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小、紙・印刷・出版、電気・精密機械ではマイナスで横ばいとなった。しかし、食料品ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
<b>製造業総合</b>	▲ 7.1	▲ 11.8	▲ 7.4	▲ 4.3	▲ 11.5	▲ 19.0	▲ 37.6	▲ 30.7	▲ <b>24.7</b>
食料品	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 8.0	▲ 6.9	▲ 6.9	▲ 42.9	▲ 40.7	▲ 19.2	▲ <b>32.1</b>
繊維関連	▲ 2.9	▲ 8.8	▲ 5.6	8.6	▲ 9.4	▲ 12.1	▲ 36.4	▲ 35.5	▲ <b>31.3</b>
紙・印刷・出版	▲ 19.0	▲ 13.6	▲ 22.2	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 36.4	▲ 23.8	▲ <b>23.8</b>
機械金属	▲ 3.2	▲ 11.8	▲ 7.1	▲ 2.9	▲ 23.5	▲ 20.6	▲ 42.9	▲ 37.1	▲ <b>32.4</b>
電気・精密機械	10.0	▲ 10.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 22.2	0.0	▲ 30.0	▲ 10.0	▲ <b>10.0</b>
鉱業・窯業・土石	▲ 22.2	▲ 22.2	0.0	▲ 22.2	11.1	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 44.4	▲ <b>22.2</b>
輸送用機械器具	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ <b>16.7</b>
その他	0.0	▲ 2.8	0.0	2.9	▲ 2.7	▲ 10.8	▲ 29.7	▲ 34.3	▲ <b>13.9</b>



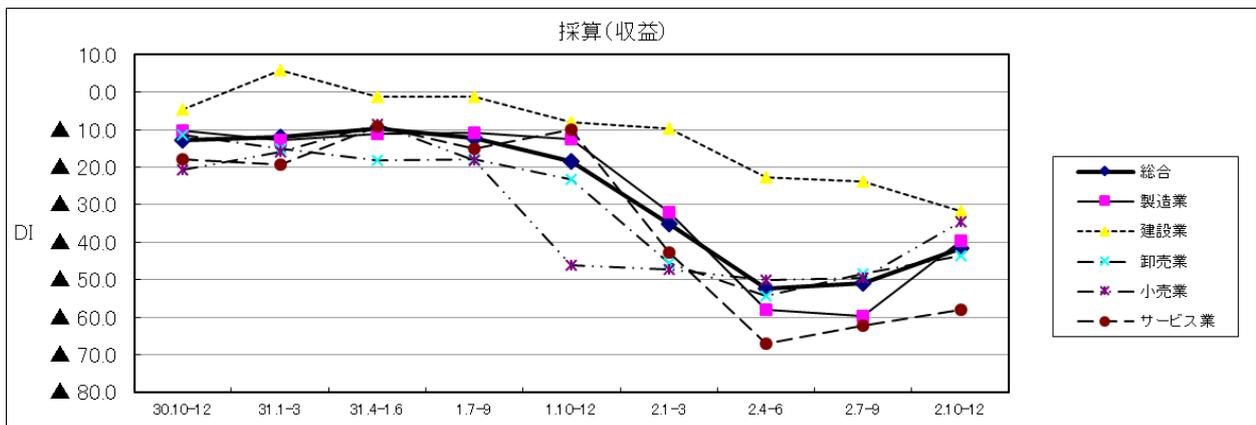
## 8. 採算（収益）

### (1) 全体

総合DI（好転－悪化）は▲41.7と7と7～9月期に比べ9.3ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業ではマイナス幅が拡大した。

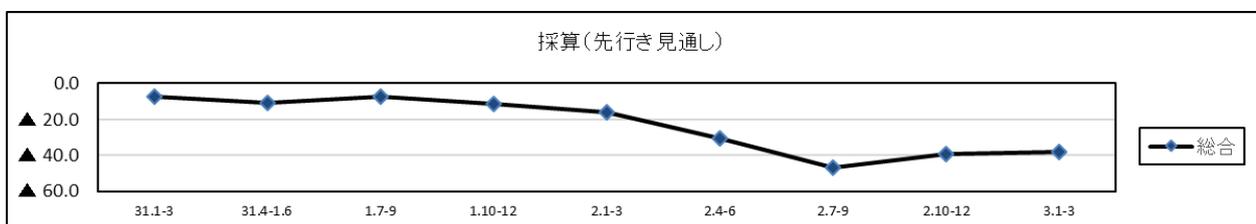
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは▲38.4（前回▲39.2）となり、マイナス幅が縮小する見通し。

採算(収益)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	▲12.9	▲12.0	▲9.6	▲12.3	▲18.4	▲35.1	▲52.5	▲51.0	▲41.7
製造業	▲10.4	▲12.9	▲11.1	▲10.7	▲12.6	▲31.9	▲58.1	▲59.8	▲39.8
建設業	▲4.7	5.8	▲1.1	▲1.2	▲8.0	▲9.6	▲22.7	▲23.9	▲31.9
卸売業	▲11.3	▲15.1	▲18.1	▲17.8	▲23.3	▲45.7	▲54.3	▲48.5	▲43.5
小売業	▲20.7	▲15.9	▲8.5	▲18.3	▲46.2	▲47.3	▲50.0	▲49.4	▲34.5
サービス業	▲17.9	▲19.3	▲9.0	▲14.9	▲9.9	▲42.7	▲67.0	▲62.2	▲57.9



### <参考> 先行き見通し

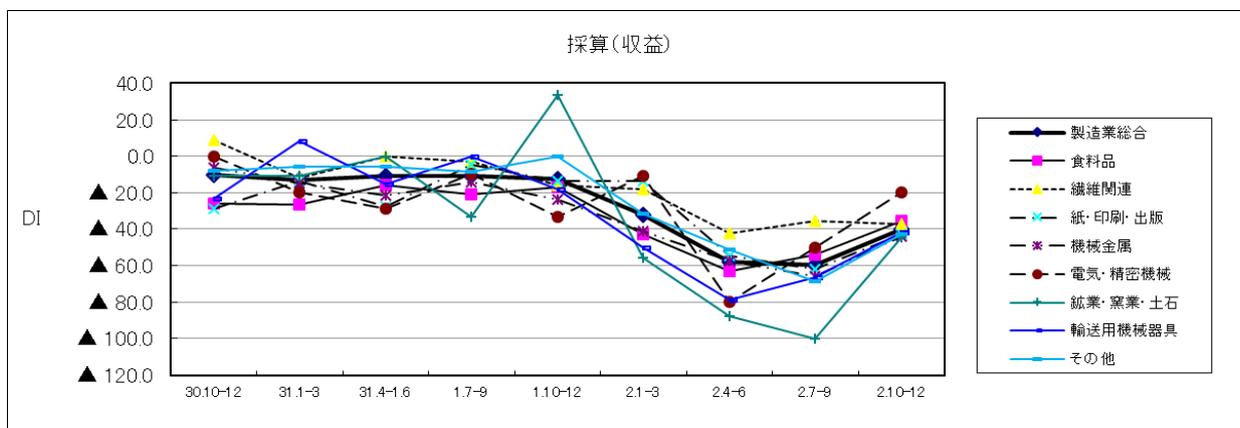
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	▲7.2	▲10.8	▲7.3	▲11.6	▲16.2	▲30.4	▲47.0	▲39.2	▲38.4



## (2) 製造業の内訳

食料品、紙・印刷・出版、機械金属、電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
製造業総合	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 11.1	▲ 10.7	▲ 12.6	▲ 31.9	▲ 58.1	▲ 59.8	▲ 39.8
食料品	▲ 25.9	▲ 26.7	▲ 16.0	▲ 20.7	▲ 17.2	▲ 42.9	▲ 63.0	▲ 53.8	▲ 35.7
繊維関連	8.8	▲ 11.8	0.0	▲ 2.9	▲ 15.6	▲ 18.2	▲ 42.4	▲ 35.5	▲ 37.5
紙・印刷・出版	▲ 28.6	▲ 13.6	▲ 27.8	▲ 4.5	▲ 13.6	▲ 13.6	▲ 54.5	▲ 61.9	▲ 42.9
機械金属	▲ 6.5	▲ 14.7	▲ 21.4	▲ 14.3	▲ 23.5	▲ 41.2	▲ 57.1	▲ 65.7	▲ 44.1
電気・精密機械	0.0	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 10.0	▲ 33.3	▲ 11.1	▲ 80.0	▲ 50.0	▲ 20.0
鉱業・窯業・土石	▲ 11.1	▲ 11.1	0.0	▲ 33.3	33.3	▲ 55.6	▲ 87.5	▲ 100.0	▲ 44.4
輸送用機械器具	▲ 23.1	8.3	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 50.0	▲ 78.6	▲ 66.7	▲ 41.7
その他	▲ 7.9	▲ 5.7	▲ 5.6	▲ 8.6	0.0	▲ 31.6	▲ 51.4	▲ 68.6	▲ 42.9



## 9. 従業員数（常用）

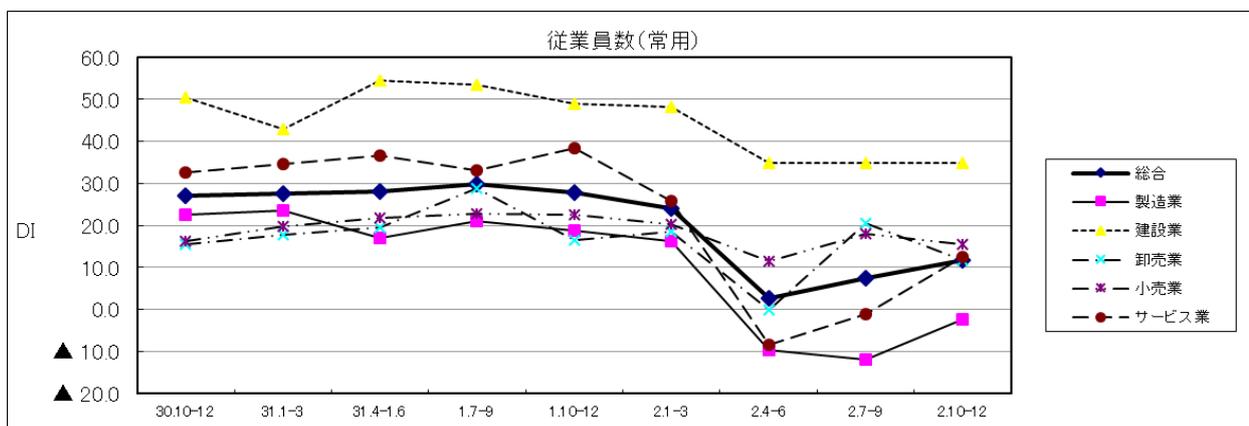
### (1) 全体

総合DI（不足－過剰）は11.8と7～9月期に比べ4.4ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、サービス業でマイナスからプラスへ転換、製造業でマイナス幅が縮小、建設業でプラスで横ばいとなった。しかし、卸売業、小売業ではプラス幅が縮小した。

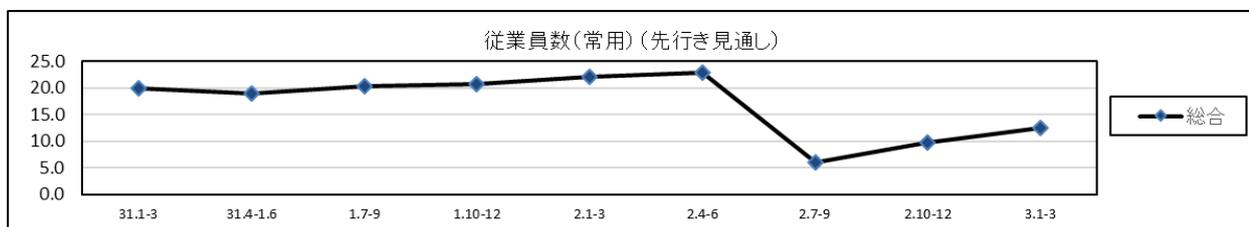
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは12.6（前回9.8）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(常用)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	27.2	27.5	28.1	29.9	27.9	24.2	2.6	7.4	11.8
製造業	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲9.7	▲11.9	▲2.2
建設業	50.6	43.0	54.5	53.5	48.9	48.2	34.8	34.8	34.8
卸売業	15.5	17.8	19.4	28.8	16.4	18.6	0.0	20.6	11.8
小売業	16.3	19.8	21.7	22.8	22.6	20.2	11.6	18.1	15.5
サービス業	32.7	34.5	36.7	33.0	38.5	25.7	▲8.3	▲1.0	12.5



### <参考> 先行き見通し

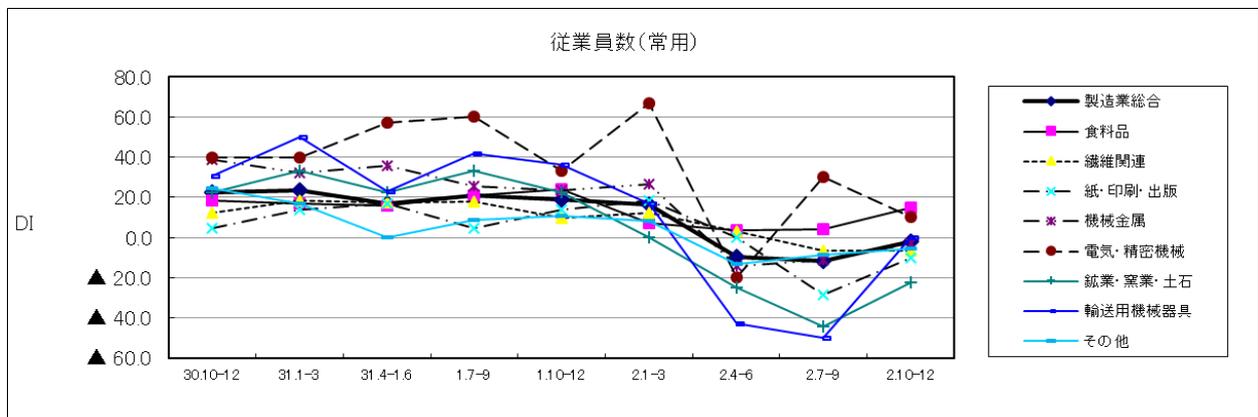
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	19.9	18.9	20.3	20.8	22.2	22.9	6.1	9.8	12.6



## (2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版、機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、電気・精密機械ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
<b>製造業総合</b>	22.7	23.7	17.0	21.0	18.7	16.4	▲ 9.7	▲ 11.9	▲ 2.2
食料品	18.5	16.7	16.0	20.7	24.1	7.1	3.7	4.0	▲ 14.8
繊維関連	12.1	18.2	17.1	17.6	9.7	12.5	3.0	▲ 6.7	▲ 6.5
紙・印刷・出版	4.8	13.6	16.7	4.5	13.6	18.2	0.0	▲ 28.6	▲ 10.0
機械金属	38.7	32.4	35.7	25.7	23.5	26.5	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 2.9
電気・精密機械	40.0	40.0	57.1	60.0	33.3	66.7	▲ 20.0	30.0	10.0
鉱業・窯業・土石	22.2	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	▲ 25.0	▲ 44.4	▲ 22.2
輸送用機械器具	30.8	50.0	23.1	41.7	36.4	16.7	▲ 42.9	▲ 50.0	0.0
その他	24.3	16.7	0.0	8.6	10.8	8.1	▲ 13.5	▲ 8.6	▲ 5.6



## 10. 従業員数（臨時）

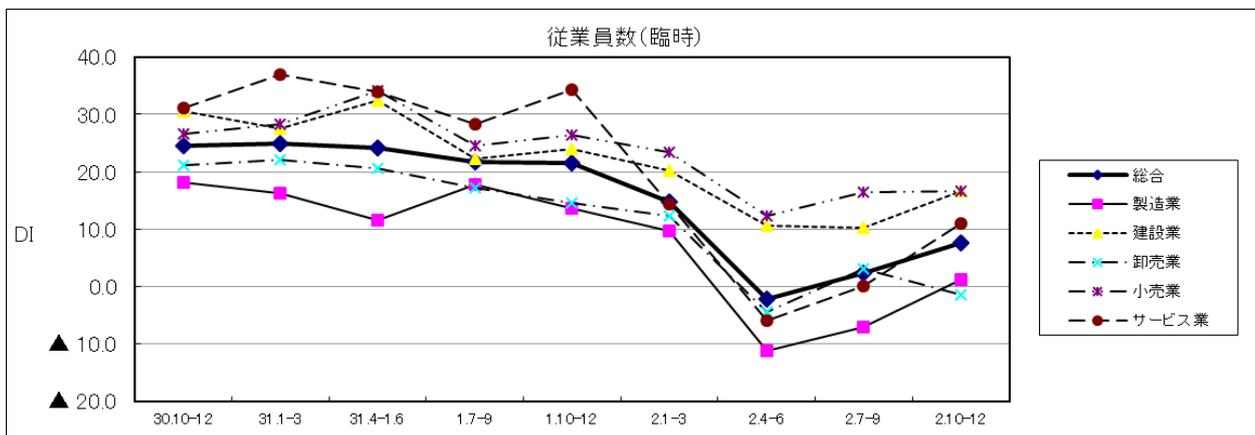
### (1) 全体

総合DI（不足－過剰）は7.7と7～9月期に比べ5.5ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、建設業、小売業でプラス幅が拡大、サービス業でプラスマイナスゼロからプラスへ転換、製造業でマイナスからプラスへ転換した。しかし、卸売業ではプラスからマイナスへ転換した。

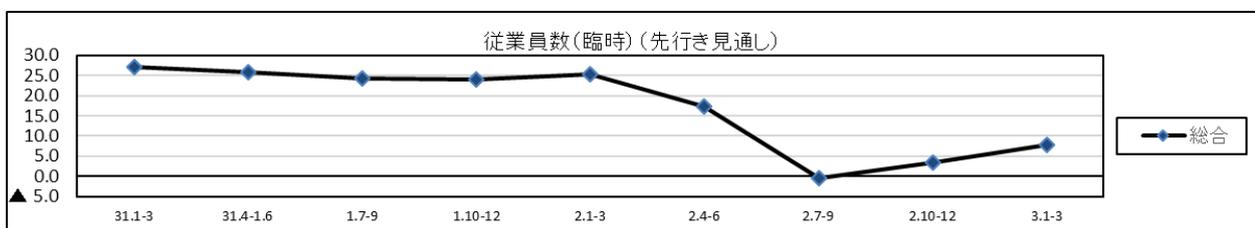
令和3年1～3月期の先行き見通し総合DIは7.8（前回3.3）となり、プラス幅が拡大する見通し。

従業員数(臨時)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
総合	24.6	24.9	24.1	21.7	21.5	14.7	▲ 2.2	2.2	7.7
製造業	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1	1.2
建設業	30.6	27.6	32.4	22.4	24.0	20.3	10.5	10.3	16.7
卸売業	21.2	22.1	20.6	17.1	14.5	12.3	▲ 4.5	3.1	▲ 1.5
小売業	26.7	28.2	34.1	24.4	26.5	23.5	12.3	16.5	16.7
サービス業	31.1	36.9	34.0	28.3	34.3	14.3	▲ 5.9	0.0	11.0



### <参考> 先行き見通し

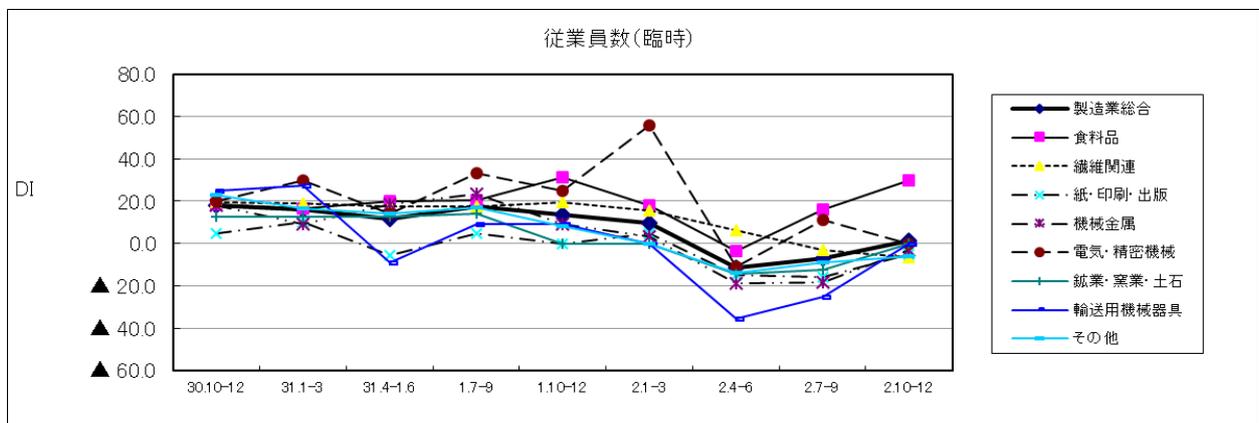
先行き見通し	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12	3.1-3
総合	27.2	25.7	24.3	24.0	25.4	17.3	▲ 0.6	3.3	7.8



## (2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、鉱業・窯業・土石、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版、機械金属、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、電気・精密機械ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

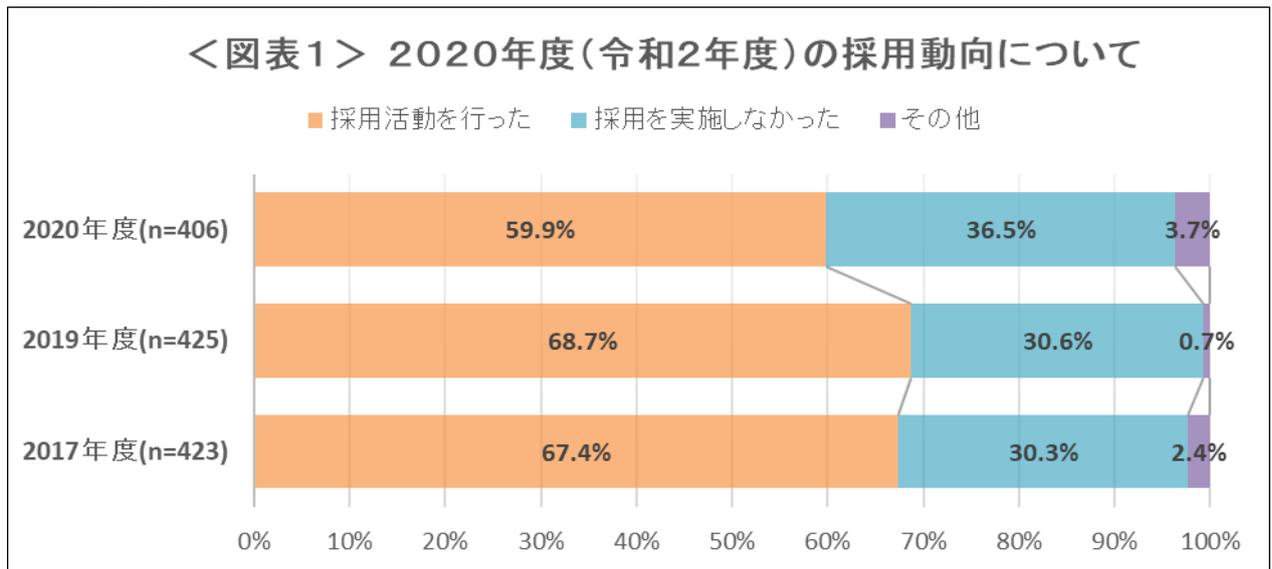
従業員数(臨時)	30.10-12	31.1-3	31.4-1.6	1.7-9	1.10-12	2.1-3	2.4-6	2.7-9	2.10-12
<b>製造業総合</b>	18.1	16.2	11.5	17.7	13.6	9.6	▲ 11.2	▲ 7.1	<b>1.2</b>
食料品	18.5	16.7	20.0	20.7	31.0	17.9	▲ 3.7	16.0	<b>29.6</b>
繊維関連	19.4	18.8	17.6	17.6	19.4	15.6	6.1	▲ 3.3	▲ <b>6.7</b>
紙・印刷・出版	5.0	10.0	▲ 5.6	5.0	0.0	4.8	▲ 15.0	▲ 15.8	▲ <b>5.3</b>
機械金属	17.9	9.4	18.5	23.3	9.4	3.1	▲ 18.8	▲ 18.2	▲ <b>3.3</b>
電気・精密機械	20.0	30.0	14.3	33.3	25.0	55.6	▲ 11.1	11.1	<b>0.0</b>
鉱業・窯業・土石	12.5	12.5	12.5	14.3	0.0	0.0	▲ 14.3	▲ 12.5	<b>0.0</b>
輸送用機械器具	25.0	27.3	▲ 9.1	9.1	9.1	0.0	▲ 35.7	▲ 25.0	<b>0.0</b>
その他	22.9	16.7	13.9	17.1	8.3	0.0	▲ 13.9	▲ 8.8	▲ <b>5.9</b>



◆付帯調査：2020年度（令和2年度）の採用動向について

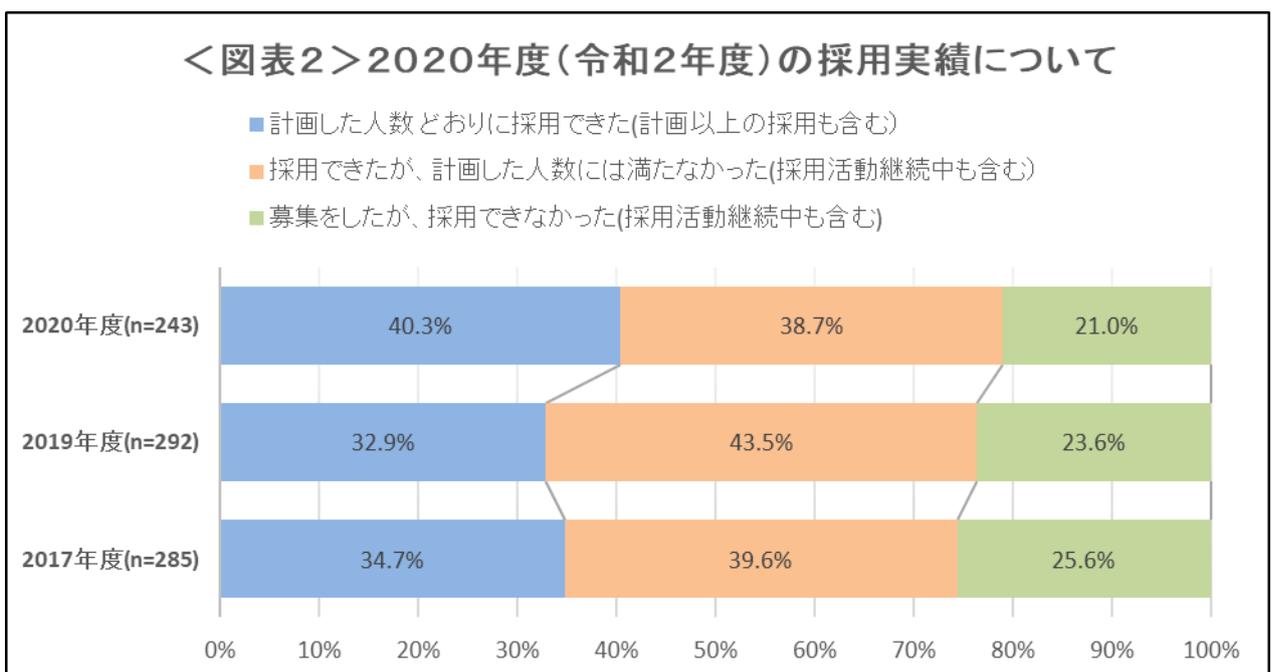
(1) 2020年度（令和2年度）の採用計画に対する採用実績について、当てはまるものを下記から選んでください。

1. 計画した人数どおりに採用できた（計画以上の採用も含む）
2. 採用できたが、計画した人数には満たなかった（採用活動継続中も含む）
3. 募集をしたが、採用できなかった（採用活動継続中も含む）
4. 今年度は採用を実施しなかった
5. その他



5. その他の意見

- ・ 現在、面接等をしており、採用実施中（倉敷・製造業／食料品）
- ・ 随時採用を行っている（倉敷・製造業／電気・精密機械）
- ・ ここ数年採用を実施していない（倉敷・サービス業）
- ・ 募集を中止（総社・建設業）



(2) 今年度の採用にあたり、コロナ禍での取り組みや影響があればご記入ください。(主な意見)

- ・合同説明会でのアピールができず苦戦 (岡山・製造業)
- ・面接2週間までの体調管理や県外などへの移動がないか等を確認した上で、来社してもらう措置を取った (岡山・建設業)
- ・説明会から最終面接、内定者フォローまで全てオンラインで実施 (岡山・卸売業)
- ・飲食業等での雇止めの増加もあり、中途採用に注力 (岡山・小売業)
- ・コロナ禍での取り組みとしては面接・会社説明会・採用内定者へのオリエンテーション等のオンライン実施。他事業種、他企業で内定取り消しが増加したなどとも報じられる中、例年より応募者も多く、採用人数も前年を上回る結果となった (岡山・小売業)
- ・採用スケジュールが後ろ倒しになった (岡山・サービス業)
- ・会社説明会はオンラインと実地を併用し、面接は実際に本人との面談を行ったが、マスク着用、入口での検温、密にならない等の対策を取った (倉敷・製造業)
- ・販売実績と人員のバランス見通しが悪くなり、積極的に採用が出来ない (倉敷・建設業)
- ・次年度の採用は控えることにした (津山・小売業)
- ・面接・会社説明会をオンラインで実施 (玉野・サービス業)
- ・一次面接のオンライン化、県外の方の積極採用 (プロフェッショナル人材活用) (笠岡・サービス業)
- ・大卒採用の会社説明会、一次面接はオンラインで実施、遠方の学生の応募が増え、予定通りの採用 (井原・製造業)
- ・コロナにとらわれすぎて来春の学卒者の求人を出すのを忘れた (総社・製造業)
- ・採用スケジュールが後ろ倒しになった。会社見学者 (就活者) も来なかった。そもそも社会状況がひどいので情報発信も控えた (新見・製造業)